

## 山二留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和6年度）

### 1 育成室の概要

#### （1）児童数・教室数（令和7年3月1日時点）

児童数 204人（うち配慮を要する児童8人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	5教室
	64人	55人	54人	29人	2人	

#### （2）受託事業者

社会福祉法人淳風会・社会福祉法人燐愛会共同事業体

（契約期間：令和5年4月～令和8年3月）

他に受託している育成室（藤白台育成室）

### 2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	3
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	3
5	おやつの提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	3
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	3
8	配慮を要する児童（障がいを有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

### 3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を高い水準で履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に大きく貢献している。
- ②保護者アンケートの「保護者にとってどの程度満足できるものでしたか。」の設問で、年度末に実施した結果では、「満足」「少し満足」の回答合計が95%と高い割合となっており、1学期・夏休み終わりに実施した結果から約4ポイント増加している。また、1学期・夏休み終わり及び年度末に実施した結果では、ともに「指導員は、児童をよく理解している。」の設問で、「思う」「少し思う」の回答合計が約98%であり非常に高い割合となっている。
- ③夏季休業期間中の1日保育時には、職員調理や宅配による昼食提供を行うことで、保護者の負担軽減に貢献している。また、実施状況報告書の研修受講状況から、研修の参加実績が多く、職員の資質向上にも努めている。
- ④令和6年度から運営する教室数が1教室増加し、5教室での運営となり、児童数の増加に伴い、週1回の指導員ミーティング等でクラス間の情報共有を図っているものの、職員体制や配置、クラス間の職員連携などにおいてより一層の工夫が求められる。